

## 座間市民活動サポートセンターの運営組織が変わりました

サポートセンターは、平成25年度より市民団体が座間市から運営を委託されることになりました。それに伴い運営組織の再編成がなされ、平成25年3月30日、新組織設立式が受託団体『ざま市民活動応援広場』発足会と併せて執り行われました。遠藤市長から「地道な市民活動が続けられ、さらなる発展を遂げることを期待する。」との言葉をいただき、新スタッフ一同身を引き締めて今後の運営にあたる決意をいたしました。応援広場は多くの市民が集まり・憩い・話し合い・学び合い・成長し合う場所であり続けます。

ざま市民活動応援広場 理事長 小池 秀司



### 市民活動支援講座のご案内

# すみたいまちをつくる私の一歩



## 創造的な協働へ向けて ～実践から学ぶ～

「こんなまちだったら、もっと暮らしやすいのに」「こんなサービスがあったら便利なのに」「もっと楽しいまちに住みたい！」日頃、そんな思いを抱いても、「どうせ変わらないよね」「私がそれをやるのはムリかなあ」とあきらめていませんか？

この講座では具体的な活動事例を紹介し、そこから私たち市民の力でまちを変えていくための方法や道筋について考えて行きます。「どうせ変わらないよねえ」が「私にもできるかも！！」に変わるかもしれません。将来、まちづくりに携わりたいと思っている方、市民活動に興味のある方、協働事業に応募を考えている方はもちろんこのと、まちづくりに“もやもや”したものをもっている方もぜひご参加ください。

**とき：6月1日(土) 13:30～15:30**

**講師：久住 剛 氏**

公益財団法人パブリックリソースセンター財団理事長  
 特定非営利法人パブリックリソースセンター代表理事

ところ：座間市民活動サポートセンター(ざまコミュニティプラザ 1F)

対象：どなたでも(まちづくりや「協働」に興味のある方)

定員：20名(申込順)

参加費：無料

申込み：5月1日(水)～5月30日(木) 当センターへ電話

TEL046-255-0201 (受付時間9時～17時、火・祝休み)

#### <講師経歴>

1980年明治大学卒業。1999年ニューヨーク大学公共政策・非営利マネジメント課程修了。県職員のかたわら、日本ネットワークカーズ会議等で、市民活動、NPO、NPO支援システム、行政とNPOの協働に関する研究及び実践に長年携わる。1996年日本NPOセンター創設に参画。2000年パブリックリソースセンター創設。2013年公益財団法人パブリックリソース財団設立。横浜国立大学、立正大学等で非常勤講師。『NPO基礎講座』『パブリックリソースハンドブック』。

# 報告

## 登録団体交流会 MOTTO・HOT・ざまっと

3月10日（日）、当センターにて登録団体の交流会を開催しました。22団体（44名）に参加いただき、団体のMOTTOをめざしてHOTに語り合いました。



HOTな意見交換

まず、市民活動の先進市、相模原市の『相模原おもちゃドクターの会』の中山英夫さんから「行政・企業とのコラボ、こうやった！」というテーマで事例発表をしていただきました。

「市との協働事業で、おもちゃドクター養成講座を開催した結果、ドクターが10名から50名になり、病院数が急増、活動が活性化した。また、“トイザラス”や“イトーヨーカドー”とのコラボで来院者の数もアップし、知名度が急激に上がった。25年度の活動資金は“市民ファンド「ゆめの芽」”からの助成金を受けることになっている。」とのことでした。発表からは、他とのコラボにより着々と活動を広げる一方で、「自分たちはただの修理屋ではない。物を大切にする心・科学する心・創造する心をこどもたちに伝えたい。」という理念を貫く姿勢が伝わってきました。

続いて、当センターに登録している3団体が活動報告を行いました。

1つめは、『回想法プランニング座間』が「団体のパワーアップのステップはこれだ！」というテーマで発表しました。「市の相互提案型協働事業に申請するにあたって、団体の趣旨・規約・事業を見直すことが必要となり、それが団体のステップアップの第一歩だった。そこから討議～実践～研鑽へ、そしてまた討議へ、という循環がつくられ、それが個々のスキルアップ・団体のパワーアップへとつながった。」との報告がありました。

2つめの『座間奏舞會』の発表では、「沖縄では、エイサーが若者のコミュニティができるきっかけとなっている。座間でも、そんなコミュニティをつくっていきたい。」との熱い言葉が印象的でした。

## これからもHOTなイベントがめじろおし！！

### 5月



#### 情報サイト「ざまっと」 登録・操作説明会

あなたの団体をインターネットで紹介しませんか。使い方を詳しく説明します。

とき：5月18日

10：00～12：15

定員：10名

### 6月



#### 平成24年度 座間市相互提案型協働事業 意見交換会&報告展示

「協働」実施の先輩に聞く。協働事業でうまくいった点、困難だった点など、“ホント”のところを昨年度の実施団体に直接聞いてみましょう。

とき：6月下旬（予定）

定員：25名

### 7月



#### 企画書の書き方 プレゼンテーションのコツ講座

団体の活動に欠かせない助成金の獲得には企画書の書き方にコツあり！座間市相互提案型協働事業への応募にも、必見の講座です。

とき：7月初旬（予定）

講師：鈴野和重氏

（NPO法人相模川倶楽部 理事）

3つめの『ピースフォーラム座間』は、「県立公園でイベントを行うにあたって、県とのやり取りが大変だった。しかし、“平和”への問題提起ができた。」といった報告がありました。市民に知ってもらうために、情報サイト「ざまっと」を利用して、イベントの成果を発信することもできたそうです。



エイサーの登場！！

最後の意見交換会では、先の4団体の事例・活動報告や市民活動全般について、質問や熱いディスカッションが展開されました。

団体の高齢化・人材確保、会費等の問題、社会貢献活動についてなどを共通した悩みとして会場全体がうなずく一方で、「団体の趣旨への回帰、燃えるような信念と熱い想いが賛同者や支援者を呼ぶ」という心強い声もいくつかの団体からあがりました。終始、HOTな意見がやり取りされる中でも、団体相互のエール交換会のような雰囲気もありました。



NPO法人の手作りの品販売コーナー

この後、『座間奏舞會』による沖縄エイサーのパフォーマンスがあり、会場は一層、盛り上がりました。

そして、『NPO法人 きづき』『NPO法人 宝島』によるケーキやコーヒー、手作り品等の販売があり、おいしいお菓子やコーヒー片手の交流・名刺（当センター作成）交換会へ……和やか賑やかムードの中で、“顔と顔”のつながりが生まれました。



活動紹介付の名刺を片手に交流会  
名刺表右上、裏右下は、当センターで作成

参加者のアンケートからも「可能性を感じた」「協力してもらおう団体・コラボしてみたい団体と遭遇した」「団体の顔をじかに見ることができ、興味がわいた」「自身の団体の活動意義を考え直す機会となった」等々うれしい感想をいただき、次回交流会開催の要望も多くいただきました。

乞うMOTTOご期待！！

## 個別の相談会もますます充実！！

### 情報サイト「ざまっと」 相談会

情報サイト「ざまっと」の登録・操作がうまくいかない等、ピンポイントのお悩みを解決します！（要予約）

とき：毎週（金）  
13：00～16：00  
30分単位

※予約時に相談内容をお知らせください。

スタート！

### チラシ作り相談会

パソコン（Word）を使ってチラシを作るときの写真やイラストの入れ方など、実践的なテクニックについて、個別にご相談に応じます。（要予約）

とき：毎週（金）  
10：00～12：00  
1時間単位

※予約時に相談内容をお知らせください。

### 登録団体が ラジオに出演中



「県央の輪」  
毎週（水）13：40頃～

当センター登録団体が、ラジオで団体のPRをしています。座間市内では、インターネットを介しての視聴がおすすめです。詳しくは、FMカオンのホームページまたは、当センターまでお問い合わせください。



# 事務局からのお知らせ



## 助成情報



### リユースパソコン寄贈

まちづくり、地域の活性化に寄与する市民活動団体にリユース(再利用)パソコンを寄贈します。(1 団体 2 台まで)

対象 : 当センター登録団体  
費用負担 : 1 台につき 6,000 円  
募集期間 : 6 月 16 日～7 月 21 日  
寄贈式 : 8 月 27 日

#### スペック

OS : windows7、CPU : core2、メモリ : 2GB以上、  
HDD : 80GB以上、  
office2007personal、ウイルス対策ソフト付

このプログラムは認定NPO法人イーパーツの企画で、県内いくつかのサポートセンターが窓口になっているものです。詳しくは座間市民活動サポートセンターへお問い合わせください。

TEL : 046-255-0201

E-mail : ss-zama@feel.ocn.ne.jp

サポートセンター登録数・利用者数

2013年3月末現在

登録団体数 : 213 団体  
ざまと登録団体 : 123 団体  
利用者数累計 : 4,828 人  
(2012年4月より)

## ご利用ください

### 《ロッカー》

★印刷用紙や消耗品の保管等に (A3 サイズ可)  
・サイズ : 幅 45 cm×高さ 40 cm×奥行 35 cm  
・使用料 : 年額 2,400 円

### 《レターケース》

★各団体間の発行物の交換や団体内の連絡等に  
・A4 サイズ×高 3.5 cm  
・使用料 : 無料

### 《印刷機》 (はがき～A3)

・製版 : 1 色 1 版 50 円 (黒・青・赤)  
・印刷 100 枚毎 50 円

### 《コピー機》 (A4、A3)

・単色/2色 : 10 円      フルカラー : 50 円

### 《ラミネーター》

・A4 : 50 円      A3 : 100 円



### 環境改善活動に助成

#### I. 緑化を伴うヒートアイランド対策に関する事業

助成金額 : 新たな緑化を行うのに必要な工事費用  
(助成対象費用の 100 分の 70、または 200 万円の  
いずれか少ない額)

#### II. 子どもたちの環境学習活動に対する事業

助成金額 : 事業に必要と認められる費用  
(費用の額、または 50 万円のいずれか少ない額)

\*\*\*\*\*

募集期限 : 2013 年 5 月 24 日

問合せ先 : 公益財団法人高原環境財団

(TEL) 03-3449-8684

(H P) <http://www.takahara-env.or.jp/>

## 募集中!

### 応援サポーター

市民活動に関する情報収集やイベント運営、センター事務等のサポートをしてくれる方を募集しています。一緒に市民活動を盛り上げましょう!!

対象 : 市民活動に理解、関心のある方、  
ワード・エクセル等ができる方

活動日 : 週 1 回～ (曜日・時間等応相談)

謝礼 : 4000 円/日

応募方法 : 4 月 28 日 (日) までに  
当センターへ履歴書を持参



### 編集後記

約1年半、育児中心の生活を送っていました。その間、子育て支援をしている様々な団体の皆さんにお世話になりました。また、自ら心地よい居場所をつくろうと奮闘されているママ達もたくさんいました。その方々がより活躍できるように、そして、よりいっそう子育てのしやすい座間にしたい、そんな思いで、サポートセンターに戻ってきました。さて、サポートセンターの運営団体「ざま市民活動応援広場」には、私の他にも幅広い世代から様々なバックグラウンドや熱い思いをもったメンバーがいます。サポートセンターでは、皆さんのいろいろな思いに寄り添って、これからも市民活動を応援します!! (すぎの)